

第4回 米子市美保中学校区義務教育学校開校準備委員会
教育環境部会議事録（概要）

- 1 日 時 令和7年2月27日（木）午後8時
2 場 所 米子市立美保中学校 2階教室
3 出席者

出席した委員の氏名（順不同）

渡部優貴、本池拓史、岩田 昇、永井美由紀、三村大輔、木村仁志（副部会長）、
岩尾奈央子、塚田 浩、河本里美（部会長）、隠樹恭衣、米山哲郎

説明のために出席した職員の職氏名

教育委員会事務局こども政策課長	永 榮 一博
こども政策課長補佐兼指導主事	遠藤 幸子
こども政策課主任	名原 裕紀
こども政策課主任	白川健四郎
こども総本部こども政策課係長	永見 鴻志
こども政策課主事	内海 宏平

4 次 第

(1) 報 告

ア 事務局からの報告

- （ア）開校時期の見直しに係る説明会及び保護者アンケートの結果概要について
（イ）事業の進捗状況と今後のスケジュールについて

イ 開校準備委員会の報告

(2) 協 議

来年度以降の教育環境部会のスケジュールについて

5 質疑、意見の概要（○質問 ・意見 →事務局の回答）

○3年遅れの場合の計画が示されているが、もしこれ以上遅れるならどのような理由で遅れるか。またその可能性はどのくらいあるか。

→農地転用の審査の状況によっては、許可が出るまでに時間を要する場合がある。建築資材等の確保に時間を要した場合、工事が延びる可能性がある。

→これ以上遅れる可能性は現時点でははっきりとは言えないが、現時点では令和13年4月の開校を目指すこととしている。

○複式学級を回避するために教員の加配を検討するとのことだが、現在も教員不足である。優先的につけてもらえるのか。

→教員の配置は県の教育委員会が行う。開校遅れに伴う複式学級なので、加配をつけて

いただくよう要望していきたい。

○開校が延びる前と延びた後のメンバーは変わったか。同じメンバーで計画を立てたのか。

→当初のメンバーとは違うが、昨年12月以降は変わっていない。今回も関係部署で計画を作成していった。当初の見込みが十分ではなかったが、現在も関係部署と連携して行っている。

・関係部署との連携がうまくいっていなかったのだと思う。メンバーを一新してほしかった。

→反省を踏まえて、連携を図るシステムを構築し、新しいスケジュールも作成した。

6 協議内容

【信号機の設置について】

- ・以前から意見として出ているが、和崎かけはし通りから崎津小に向かう市道のところに押しボタン信号を設置してほしい。既存の信号機との距離の関係で難しいとのことだったが、河崎小前は付いている。新しく学校を設置するので可能なのではないかと思うので、このことも検討したい。
- ・信号は要望するのが一番良いと聞いた。

【米川沿いの防犯灯について】

- ・米川沿いに防犯灯を付けてほしい。義務教育学校の敷地内には付けてもらえると聞いている。この先、米川沿いが通学路になるのではないかと思う。現在も高校生は駅に行くために使っている。これは義務教育学校の事業ではなく、米子市として米川沿いの防犯灯を整備してほしい。

【学校備品について】

- ・義務教育学校だけでなく市内の小中学校に関することだが、家庭科の調理実習用に1セットでもいいので、アレルギー対応の調理器具を準備しておいてほしい。食材は別にすることができるのでよいが、調理器具はアレルギー食材を調理したものを使用するのは心配である。各校に準備できないものか。
- ・施設面や通学路等にばかり目が行っていたが、子どもの健康に対する環境整備も必要だと感じた。

【通学路の整備について】

- ・安全な通学路を整備するのに、どのくらい時間がかかるか分からない。1年や2年ではできない。この部会だけで協議していても無理だと思う。提示してもらって、実際に現地を見て、必要な整備を考えて、予算をとってもらわないといけない。

【今後の部会の在り方について】

- ・アンケート結果の要望への回答が書かれていないのが気になっている。
- 今後、要望への回答も記載していく。

- ・どの道を通ればいいのか、バス停をどこにするか、バス停まではどの道を通るか、集団登校をするのかなど検討することがいっぱいある。令和 12 年度には完璧にし、シミュレーションも必要。この部会は休む暇はないと思う。
- ・部会の必要性はわかるが、今年一年やってみてどうだったかを洗い出してみた方がよい。
- ・開校準備委員や専門部員は、任期が 1 年なので、突然委員や部員になっても分からない人が出てくるようになる。開校が延びたので、きちんと引継げるように丁寧にできるのではないかな。
- 検討の経緯はしっかり引き継いでいきたい。
- ・今後、延びないようにしてもらえたらいい。
- ・次回までに協議内容を示してほしい。
- ・部会として今年の成果は何だったのかという評価が必要だと思う。明確に目標を持ち、実際に校区を歩いてみたりしながら具体的に進めていくような会にしたい。
- ・目標を持って、何をいつまでに、どのように決めていくかなど、明確にして進めていきたい。
- これまでの経緯等周知が十分ではなかったところもあった。皆さんの意見を聞く機会を積極的に設けていく必要を感じている。
- 今後は明確な見通しを持って部会を進めていただけるよう、事務局の準備を進めていく。

7 協議結果

- ・事務局案のとおり、来年度も部会を開催し、協議を進めていく。